

平成 27 年 7 月 22 日
動 物 衛 生 課

【OIE 情報】中国における野鳥での高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1）の 検出について

中国 青海省における野鳥での高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1）の検出について、
OIEへ報告がありましたのでお知らせします。本報告は、2014年10月24日付けの発生報告の続報
（続報 5）です。

出典：OIEウェブサイト（2015年 7 月17日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=18151

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・ 発生数：1 件（続報 5）
- ・ 発生日：2015年 7 月 9 日
- ・ OIEへの報告日：2015年 7 月17日
- ・ 血清型：H5N1（高病原性）

【発生状況】

- ・ 7 月 9 日：青海省 海南チベット族自治州 共和県の村

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
オオズグロカモメ*	－	2, 361	2, 361	0	0

* Great Black-headed Gull: *Larus ichthyaetus* (Laridae)

【疫学情報】

- ・ 感染源：不明または調査中
野生種との接触

【対応】

- ・ 野生宿主のコントロール
- ・ 国内における移動制限
- ・ 消毒
- ・ 発生に対応したワクチン接種は実施していない
- ・ 患畜を治療対象としない

【診断】

- ・ 診断施設：中国農業科学院ハルビン獣医研究所（OIEリファレンスラボラトリー）
- ・ 診断法：RT-PCR、ウイルス分離：陽性
- ・ 診断日：2015年 7 月17日

【中国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）の発生状況（2015年1月以降）】

